

# Science & Culture Exchange Program

## 1. 実施目的

鹿児島県立国分高等学校で平成30年度より取り組んでいる「霧島から世界へ サステナビリティの視座を持った科学系人材育成プログラムの研究開発」について、マレーシア国の現地の教育機関と自然環境の中で、サイエンス研修を行う『SSH マレーシア海外研修』が実施できなかったため、それに代わる研修を行うことを目的とする。海外から鹿児島大学に留学している学生たちから自身の国について、あるいは研究内容について講義を受け、ディスカッションをする機会をもつことによって、主体的に探究活動ができる生徒、グローバルな視座を持って課題研究を深められる生徒を育成したいと考えている。

## 2. 実施期間

令和2年8月5日（水）

## 3. 参加人数

① 国分高等学校教員 2名（氏名：小溝・立神）他

### ② 参加生徒

国分高等学校	理数科1年生	普通科1年生	10名
	理数科2年生	普通科2年生	20名
	理数科3年生	普通科3年生	30名

③ 鹿児島大学留学生 10名

## 4. 研修場所及び研修内容

研修場所 国分高等学校 教室

研修内容 研修はすべて英語で行う

### ① 異文化理解

留学生による、自国文化についての講義を聴く。

### ② サイエンス研修

(a) 留学生の研究活動及び研究内容についての講義および討議。

(b) 本校生徒の課題研究について指導助言。意見交換。

### 効果

留学生の英語による講義を聴き、討議をすることで、生徒の英語力が養われる。大学生の科学系研究内容を知ることにより、大学の様子を知ると同時に自身の課題研究を深められる。留学生活の様子を知ること、科学英語や留学への動機付けも期待できる。討論等を行うことで、プレゼンテーション能力を高められる。

## 8月5日（水）当日のスケジュール

生徒集合 9時半 教室の設営

生徒は各自で昼食，飲み物を用意しておいてください。

時間	移動	詳細内容													
9:48 10:10 10:30	国分駅着  国分高校着 各教室へ移動	生徒数人で出迎え研修開始  挨拶 会議室等	教室1-1 生徒グループI 教室1-2 生徒グループII 教室1-3 生徒グループIII 教室1-4 生徒グループIV 教室1-5 生徒グループV												
10:40  11:40	講義 I	生徒自己紹介+留学生1名約25分で自国のことを講義および質疑応答	<table border="1"> <tr> <td>1-1</td> <td>講師 A</td> <td>1-3</td> <td>講師 C</td> <td>1-5</td> <td>講師 E</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>講師 B</td> <td>1-4</td> <td>講師 D</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1-1	講師 A	1-3	講師 C	1-5	講師 E	1-2	講師 B	1-4	講師 D		
1-1	講師 A	1-3	講師 C	1-5	講師 E										
1-2	講師 B	1-4	講師 D												
11:40  12:40	文化交流	距離をとって昼食 生徒は自分の弁当を準備 折り紙や日本文化の紹介，フリートークなども可能です。	<table border="1"> <tr> <td>1-1</td> <td>講師 E</td> <td>1-3</td> <td>講師 B</td> <td>1-5</td> <td>講師 D</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>講師 A</td> <td>1-4</td> <td>講師 C</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1-1	講師 E	1-3	講師 B	1-5	講師 D	1-2	講師 A	1-4	講師 C		
1-1	講師 E	1-3	講師 B	1-5	講師 D										
1-2	講師 A	1-4	講師 C												
12:40  13:40	講義 II	生徒自己紹介+留学生1名約25分で自国のことを講義および質疑応答	<table border="1"> <tr> <td>1-1</td> <td>講師 D</td> <td>1-3</td> <td>講師 A</td> <td>1-5</td> <td>講師 C</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>講師 E</td> <td>1-4</td> <td>講師 B</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1-1	講師 D	1-3	講師 A	1-5	講師 C	1-2	講師 E	1-4	講師 B		
1-1	講師 D	1-3	講師 A	1-5	講師 C										
1-2	講師 E	1-4	講師 B												
14:00  14:50	講義 III	生徒自己紹介+discussion Topic 別紙にあるトピック一覧を参考に講師の先生と discussion をする。	<table border="1"> <tr> <td>1-1</td> <td>講師 C</td> <td>1-3</td> <td>講師 E</td> <td>1-5</td> <td>講師 B</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>講師 D</td> <td>1-4</td> <td>講師 A</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1-1	講師 C	1-3	講師 E	1-5	講師 B	1-2	講師 D	1-4	講師 A		
1-1	講師 C	1-3	講師 E	1-5	講師 B										
1-2	講師 D	1-4	講師 A												
15:00  15:50	講義 IV	生徒が自分の研究に合う講師に直接発表もしくは質問 or discussion	<table border="1"> <tr> <td>1-1</td> <td>講師 B</td> <td>1-3</td> <td>講師 D</td> <td>1-5</td> <td>講師 A</td> </tr> <tr> <td>1-2</td> <td>講師 C</td> <td>1-4</td> <td>講師 E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1-1	講師 B	1-3	講師 D	1-5	講師 A	1-2	講師 C	1-4	講師 E		
1-1	講師 B	1-3	講師 D	1-5	講師 A										
1-2	講師 C	1-4	講師 E												
16:00 16:30	閉会	フリートーク 記念撮影 挨拶													

留学生に聴いてみたいことなどを準備しておこう

# サイエンスカルチャー研修の感染症対策について

R2. 7. 28

文部科学省や県教育委員会の通知を踏まえ、3密を避ける、マスクの着用及び石けんによる手洗いなどの手指衛生などを厳守し、活動を行ってください。

## (1) 全般的な事項（指導者・講師（留学生）・参加生徒共通）

- ①参加者は、基本的には常時マスクし、感染症対策を十分行って活動する。
- ②近距離で対面形式となるグループワーク、近距離で一斉に大きな声で話す活動等は避けること。
- ③窓を全開にするなど、十分に換気を行う。
- ④マスクを外すこともできるが、その際は前後左右2 m以上生徒間を離すこと。
- ⑤各教室に入る時など、こまめに手を洗い、アルコール消毒も心がける。
- ⑥手指で目、鼻、口をできるだけ触らないようにする。
- ⑦熱中症事故の防止にも努めること。
- ⑧トイレ休憩後、昼食の前後は必ず石けんで手洗いをし、消毒も行うこと。

## (2) 講師（留学生）について

- ①指導中は個人間を2 m以上離すことを心がけ、多数の生徒が密集することを避けながら、研究を指導する。
- ②実験道具等については、使用前に消毒を行うとともに、生徒間で不必要に使い回しをしないこと。
- ③講師が一斉指導する際は、生徒との距離を前後左右2 m以上離すこと。その際、マスクをしてボイススピーカー等を利用してもかまわない。
- ④公共交通機関を利用し、移動する際には、必ずマスクを着用し、会話などは控える。

## (3) 生徒について

- ①冷静に活動をすること、基本的に指導者が指示した位置で活動を行う。
- ②不必要な会話や発声を行わないこと。

## (4) その他

- ①講師や生徒だけに任せるのではなく、指導者は見守り、活動状況を確認する。
- ②指導者は3密を避けられない状況を絶対に避けること。活動の状況によっては中止もしくは途中で中断することもあり得る。
- ③指導者は、消毒液・石けん等を各実験室に設置すること。使用用具や椅子、手すり等、生徒が触れる場所等の消毒を適宜実施すること。